

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	B's こどもL a b o		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年3月1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の向上を図るための、積極的な研修受講。	外部研修への積極的な職員、パートの参加調整や、法人内の研修参加をおこない、新しい知識を常に学び続ける事を促している。	・スタッフから、参加したい研修を聞き取り取り入れる。 ・法人内の事業所で実施している研修への参加調整。
2	就学時の移行の際に小学校や特別支援学校と情報共有や連携を図る事が出来る。	放課後等デイサービスで地域の小学校や特別支援学校の担当者と日常的に連絡を取り合っている為、就学時の移行時に連携を	放デイのサービス利用児がいない小学校とも、移行がある際には情報の共有が円滑に図れるよう取り組む。
3	保育所等訪問支援計画を作成する際、保護者や子どもの意思を尊重し、こどもの最善の利益を考慮し、家族の意向を確認する機会を設けている。	法人内の相談支援専門員によるアセスメントやモニタリング時におけるスキルを高める研修や、人権倫理の研修を定期的実施している。	外部研修への参加や、参考書をチェックする。他事業所の支援計画なども参考にし、常に研鑽していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	契約が切れた保護者へのアフターケア。	2件の保護者双方と、その後連絡を取り合う事が難しく、今回のアンケートも無回答という形になった。	契約終了の前に、アンケートに回答して頂く事で、回答率も上がり、保護者さんの意見を多く集められる。
2	支援終了当日の打ち合わせ、振り返りの実施。	翌日以降、振り返りは行えているが【当日】に実施出来ていない。	当日中に実施出来るよう、勤務調整をおこなう。
3	保護者の交流会、父母の会との連携。	保護者への促しが足りていなかった。	事業所と地域を繋ぐ行事に、父母の役割を作り、参加して頂き、職員や地域住民だけでなく保護者同士の交流の場になるようにする。